

うるま市 防災だより No.5

梅雨時は洪水や土砂災害に注意！

沖縄地方では5月には梅雨前線により雨が多くなります。

局地的な大雨により、川や排水溝などで急な増水が発生することがあります。雨の降り方に注意し、危険を感じたら川や排水溝などから直ちに離れましょう。子ども達が川などで遊んでいる場合は、声をかけて子ども達を危険から守りましょう。

◆避難が遅れた時は建物の2階以上へ垂直避難

浸水により水の深さがひざ下程度であっても水の流れによっては歩くことも困難です。夜間や激しい降雨時、道路冠水などで避難通路が危険な状況の場合は、屋外への移動は極力避けて、建物の2階以上に避難しましょう。土砂災害のおそれがある場合は、同じ2階以上でも山（がけ）側と反対の部屋に移動しましょう。



◆早めの自主避難で土砂災害から身を守ろう！

がけ地や粘土質の滑りやすい地盤などでは、「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」などのおそれがあります。住宅周辺の地形や地質を確認し、「土砂災害警戒情報」が発表された場合や、少しでも異変を感じた時は早めに自主避難しましょう。

【土砂災害が発生しやすい現象】

- 雨の降り方が異常
- 急に川が濁る
- 裏山から変な音（地鳴り等）や土臭い匂い
- がけから小石がパラパラ落ちる
- がけの亀裂や水が噴き出す など

◆うるま市地域防災計画を修正しました

市では平成26年度に防災対策の要となる「うるま市地域防災計画」の修正を行いました。平成21年度以来の修正で、計画の構成を全面的に見直し、地震津波対策を計画の骨格にしています。

今回の修正の基本的な方針は以下の6点です。

- ① 災害対策基本法の改正及びその他関係する法令との整合を図ること。
- ② 国や沖縄県の防災計画と整合を図ること。
- ③ 新たな被害想定との整合をはかること。
- ④ 本市の地勢的、社会的特性を踏まえた見直しを図ること。
- ⑤ 地域防災力の向上のための多様な主体間の連携強化と役割分担に関すること。
- ⑥ 東日本大震災の教訓を踏まえ、広域災害に対する体制の整備に関すること。

改定後の「うるま市地域防災計画」に基づいて、本市の防災体制の整備を推進いたします。

～津波てんでんこ（東北地方の防災標語）：自分の命は自分の責任で守れ！～